

令和 年分 退職所得の源泉徴収票・特別徴収票

支払を受ける者	個人番号												
	住所又は居所												
	令和 年 1月1日の住所												
	氏名	(役職名)											
区分			番号	支払金額	源泉徴収税額	特別徴収税額							
				千円	千円	千円	千円	市町村民税	道府県民税	市町村民税	道府県民税		
所得税法第201条第1項第1号並びに地方税法第50条の6第1項第1号及び第328条の6第1項第1号適用分													
所得税法第201条第1項第2号並びに地方税法第50条の6第1項第2号及び第328条の6第1項第2号適用分													
所得税法第201条第3項並びに地方税法第50条の6第2項及び第328条の6第2項適用分													
退職所得控除額		勤続年数		就職年月日		退職年月日							
万円		年		年 月 日		年 月 日							
(摘要)													
支払者	個人番号 又は法人番号												
	住所(居所) 又は所在地												
	氏名又は 名 称	(電話)											
整理欄		①	②										

令和 年分 退職所得の源泉徴収票・特別徴収票

支払を受ける者	個人番号又は法人番号												
	住所又は居所												
	令和 年 1月1日の住所												
	氏名	(役職名)											
区分			番号	支払金額	源泉徴収税額	特別徴収税額							
				千円	千円	千円	千円	市町村民税	道府県民税	市町村民税	道府県民税		
所得税法第201条第1項第1号並びに地方税法第50条の6第1項第1号及び第328条の6第1項第1号適用分													
所得税法第201条第1項第2号並びに地方税法第50条の6第1項第2号及び第328条の6第1項第2号適用分													
所得税法第201条第3項並びに地方税法第50条の6第2項及び第328条の6第2項適用分													
退職所得控除額		勤続年数		就職年月日		退職年月日							
万円		年		年 月 日		年 月 日							
(摘要)													
支払者	住所(居所) 又は所在地												
	氏名又は 名 称	(電話)											
	整理欄		①	②									

316

316

支払を受ける者	個人番号												
	住所又は居所												
	令和 年 1月1日の住所												
	氏名	(役職名)											
区分			番号	支払金額	源泉徴収税額	特別徴収税額							
				千円	千円	千円	千円	市町村民税	道府県民税	市町村民税	道府県民税		
所得税法第201条第1項第1号並びに地方税法第50条の6第1項第1号及び第328条の6第1項第1号適用分													
所得税法第201条第1項第2号並びに地方税法第50条の6第1項第2号及び第328条の6第1項第2号適用分													
所得税法第201条第3項並びに地方税法第50条の6第2項及び第328条の6第2項適用分													
退職所得控除額		勤続年数		就職年月日		退職年月日							
万円		年		年 月 日		年 月 日							
(摘要)													
支払者	個人番号 又は法人番号												
	住所(居所) 又は所在地												
	氏名又は 名 称	(電話)											
整理欄		①	②										

316

316

【退職所得の源泉徴収票】

※ 様式はA4用紙1枚に税務署提出用及び受給者交付用それぞれ2枚分が印刷されますので、裁断の上ご利用ください。

備考

- 1 この源泉徴収票は、居住者に支払う法第226条第2項に規定する退職手当等（以下この表において「退職手当等」という。）について使用すること。
- 2 この源泉徴収票の記載の要領は、次による。
 - (1) 「住所又は居所」及び「個人番号」の欄には、源泉徴収票を作成する日の現況による住所又は居所及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号を記載すること。ただし、退職手当等の支払を受ける者に交付する源泉徴収票については、「個人番号」の欄は、記載を要しない。
 - (2) 「番号」の項には、次に掲げる場合に該当するときは、次に掲げる場合の区分に応じそれぞれ次に定める番号を記載すること。この場合において、(ア)から(ト)までに掲げる場合に該当するときは、これらの規定に規定する経済的利益の額を「摘要」の欄に記載すること。
 - (イ) その退職手当等が、法第31条の規定により退職手当等とみなされる一時金に該当する場合 ((ロ)に掲げる場合を除く。) 1
 - (ロ) その退職手当等が、令第72条第3項第7号に掲げる一時金に該当する場合 2
 - (ハ) その退職手当等が、令第84条第1項に規定する特定譲渡制限付株式又は承継譲渡制限付株式の同項に規定する譲渡についての制限が解消されたことにより受けた経済的利益に該当する場合 ((ホ)及び(ト)に掲げる場合を除く。) 3
 - (ニ) その退職手当等が、発行法人から与えられた令第84条第3項の規定が適用される同項各号に掲げる権利の行使による同条第2項に規定する株式の取得に係る経済的利益に該当する場合 ((ハ)及び(ト)に掲げる場合を除く。) 4
 - (ホ) その退職手当等の支払金額の総額が、(イ)から(ニ)までに規定する退職手当等のいずれにも該当しない退職手当等 ((ハ)及び(ト)において「一般的退職手当等」という。) の支払金額及び(ハ)に規定する経済的利益の額に相当する金額から成る場合 5
 - (ハ) その退職手当等の支払金額の総額が、一般的退職手当等の支払金額及び(ニ)に規定する経済的利益の額に相当する金額から成る場合 6
 - (ト) その退職手当等の支払金額の総額が、一般的退職手当等の支払金額、(ハ)に規定する経済的利益の額に相当する金額及び(ニ)に規定する経済的利益の額に相当する金額から成る場合 7
 - (3) 「支払金額」の項には、自分が支払う退職手当等についてその年中に支払の確定した金額（法第202条に規定する退職一時金については、同条の規定により退職手当等の支払を受けたものとみなされる額に相当する金額）を記載し、源泉徴収票を作成する日においてまだ支払っていないものについては、これを内書すること。また、その退職手当等の全部又は一部が法第201条第1項第1号ロに規定する短期退職手当等（以下この表において「短期退職手当等」という。）又は同号ハに規定する特定役員退職手当等（以下この表において「特定役員退職手当等」という。）に該当する場合には、当該短期退職手当等又は当該特定役員退職手当等の金額を「摘要」の欄に記載すること。
 - (4) 「源泉徴収税額」の項には、法第199条の規定により徴収される税額を記載すること。
 - (5) 「勤続年数」の項には、令第69条又は第70条の規定により計算した勤続年数を記載し、その計算の基礎を「摘要」の欄に記載すること。また、自分が支払う退職手当等又は法第201条第1項第1号に規定する支払済みの他の退職手当等の全部又は一部が短期退職手当等又は特定役員退職手当等に該当する場合には、令第71条の2第2項に規定する短期勤続年数及びその計算の基礎又は同条第4項に規定する特定役員等勤続年数及びその計算の基礎を「摘要」の欄に記載すること。
 - (6) 次に掲げる場合に該当する場合には、それぞれ次に定める事項を「摘要」の欄に記載すること。
 - (イ) 令第70条第1項第1号の規定の適用がある場合 同号に規定する前に支払を受けた退職手当等に係る期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (ロ) 令第70条第1項第2号の規定の適用がある場合 同号に規定する重複している部分の期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (ハ) 令第71条の2第11項第1号の規定の適用がある場合 同号に規定する前に支払を受けた退職手当等に係る期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (ニ) 令第71条の2第11項第2号の規定の適用がある場合 同号に規定する重複している期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (ホ) 令第71条の2第12項第1号の規定の適用がある場合 同号に規定する前に支払を受けた退職手当等に係る期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (ト) 令第71条の2第12項第2号の規定の適用がある場合 同号に規定する重複している期間及び同号に定める金額の計算の基礎
 - (7) 法第30条第6項第2号の規定の適用を受ける者については、その旨を「摘要」の欄に記載すること。
 - (8) その退職手当等が法第41条の2の規定により同条に規定する退職手当等の収入金額とみなされるものである場合には、その旨を「摘要」の欄に記載すること。
 - (9) その退職手当等の支払を受ける者が提出した法第203条第6項に規定する退職所得の受給に関する申告書に、法第201条第1項第1号に規定する支払済みの他の退職手当等がある旨の記載がある場合には、その支払済みの他の退職手当等の支払者の氏名又は名称並びにその支払済みの他の退職手当等に係る(3)及び(4)に規定する事項を「摘要」の欄に記載すること。

3 合計表をこの様式に準じて作成し、添付すること。